

## 『ゴルフルールBOOK』追加・訂正表

初版発行 2018年11月27日現在(\*は11/5から更新された内容)

下記の追加・補足・訂正がございました。確認していただけますようお願い申し上げます。

訂正箇所	訂正前	訂正後
P2 1行目	ゴルフのルール(仮)	ゴルフルールBOOK
P14 3行目	～パッティング・グリーン・の4つの……	～パッティング・グリーン、バンカーの5つの区域で……
P19 11行目	ペナルティ・エリア内のソール、	バンカー内のソール、
P22 ニヤレストポイント	(P22,23,25の図に関して説明追加)	注)通常、元の位置にもっとも近い一点がニヤレストポイント。本書ではスタンスをとれない場合などの可能性を考慮し、複数箇所図示した。
P23 下の図	(P23下の図に関して説明追加)	注)2罰打を加算してバンカー外の後方線上の救済を受ける選択肢もある。
P24 下から4行目	～場合、2クラブレングス以内に止まらなければ再ドロップ。	～場合は再ドロップ。
P25 4行目	たとえば、黄色や赤の杭やラインで～	たとえば、赤の杭やラインで～
P26 2行目	青杭やラインで～	黄色の杭やラインで区切られたペナルティ・エリア内、青杭やラインで～
8行目	黄杭とアンプレヤブル(2クラブレングス)	黄杭(1クラブレングス)とアンプレヤブル(2クラブレングス)
P27 下から10行目	バックスイングで木の枝を折ったり、……罰打の対象になる。	ただし、止めたスイングで木の枝が折れたり、バックスイングでバンカー内の砂に触れると罰打の対象になる。
下から2行目	しかし、バンカーや池などのペナルティ・エリア内ではソールできないため、	しかし、バンカー内ではソールできないため、
P33 下から9行目	もし、ペナルティ・エリア内の……事前にとり除いておくのが賢明だ。	もし、バックスイングでクラブが触れても無罰だが、故意にライを改善されたとみなされると2罰打となるため、事前にとり除いておくのが賢明だ。
P38 下から10行目	スタート時間に～……加算される。	スタート時間に遅れると「2罰打」を加算、5分以上遅れると「競技失格」となる。
P41 3行目	・バックスイングが木の葉や～……ルースインペディメントは事前に拾う。	・バックスイングで砂に触ると2罰打が加算される。
P55 下から6行目	打つ前にどければ続行、打てば2罰打	スタンスを取った時点で2罰打
*P57 下から4行目	落ちたところ～……打つてしまうと2罰打。	無罰で再度ティーアップ、もしくは落ちたところから第2打目を続行する。
*One Point	ボールがティー～……打つことができる。	この場合、ボールを交換することも可能。ティーイング・エリア内の任意の地面に置き直すこともできる。
*P80 4行目	～近くに止まり、スタンスすると～	～近くに止まり、救済を受けてドロップ後にスタンスすると～
P102 下から4行目	動いているボールにクラブが当たったり、……1罰打が加算される。	動いているボールが偶然クラブに当たっても無罰、故意に止めたり打つてしまうと2罰打が加算される。
One Point	動いたボールが～……止まったところからプレーを続行する。	バックスイングを開始後に動き出したボールを打ってしまった場合は無罰になる。
*P108 4行目罰打	罰打2	罰打0
*下から 6～4行目	2罰打を加算して元の位置から打ち直す動いているボールを～……元の位置から打ち直す。	無罰でそのままプレーを続行する バックスイング開始後に動き始めたボールを打ってしまった場合は、無罰でそのままプレーを続行する。
*One Point	空振りの場合～……負けとなる。	空振りの場合、ボールが止まったところから次打としてプレーを続行する。
P143 下から5行目	バンカーや池などの～……ボールはそのままプレーできる。	バンカー内のボールを打つ前やバックスイングでクラブが砂に触れるとスイング区域の改善とみなされ2罰打を加算し、打ったボールでそのままプレーを続ける。
P144 下から6行目	2罰打を加算してプレーを続行する	そのままプレーを続行する
P168 One Point	ボールをドロップ～……でプレーする。	ボールをドロップ後3分以内に、打つ前に正球が見つかってドロップしたボールでプレーする。
P177 4行目罰打	罰打0/1	罰打0/2
下から 6～3行目	止まったところからプレーを続行 球はリプレースした時点で～……元に戻してしまつたら1罰打でリプレース。	元の位置からプレーを続行 ボールをマークして拾い上げた場合、リプレース後に自然の力で動いた場合には無罰で元の位置に戻してプレーを続行する。そのまま打つてしまうと2罰打が加算される。
*One Point	動いているボールが～……ホールアウト。	ボールやマーカーを自分や同伴競技者が偶然に動かした場合も無罰。元の位置にリプレース、または、マークする。
*P178 下から5行目	ボールの一部でも～……マークして拾い上げることができる。	ボールが短く刈られたグリーン面に触れていれば、マークして拾い上げられる。グリーン外では、同伴競技者の要望なく、自己判断で勝手に拾い上げてしまうと1罰打が加算される。
*P186 下から4行目	～グリーン面に触れると～	～グリーン面に触れたまま打つと～
P189 下から5行目	旗竿を抜くときに挟まっていた～……1罰打で元の位置にリプレース。	カップインしていないボールが動いてしまった場合は、無罰でカップの縁にプレースする。動いたところからプレーすると誤所からのプレーで2罰打が加算される。
P190 4行目罰打	罰打2	罰打0/2
下から 6～3行目	2罰打を加算してプレーを続行する グリーン上から打ったボールが～……2罰打を加算してプレー続行。	偶然なら無罰、故意なら2罰打を加算する 意図なく置かれた旗竿に偶然ボールが当たった場合は無罰、当たったことを想定して旗竿を置いた場合は2罰打を加算して元の位置から打ち直す。
One Point	キャディが拭いているボールを～……2罰打が加算される。	ボールが当たることを想定して同伴競技者が旗竿を置いた場合は同伴競技者に罰打が加算される。

●本書はR&A/USGAより2018年9月12日発表されたRules of Golfを参照して編集しています。表記が日本語ゴルフ規則と異なる場合があります。

●ルール改定に伴う緊急出版といえ、本書に訂正がありましたこと深くお詫びいたします。

新星出版社編集部